



# 2013(平成25)年度 宗学院別科受講生募集

## 担当講師



深川 宣暢

本願寺派司教  
龍谷大学 教授

「安心論題」担当

安心論題で教学のカナメが学べます。



武田 晋

本願寺派司教  
龍谷大学 教授

「三経七祖教義」担当

親鸞聖人の教学の基盤は  
浄土三部経と七祖の教えにあります。



楠 淳澄

本願寺派司教  
龍谷大学 教授

「仏教概論」担当

仏教をよく知れば、  
より深く真宗が理解できる。



殿内 恒

本願寺派司教  
龍谷大学 教授

「本典概説」担当

本典を通して  
教義体系の全体像を学びます。

## 僧侶が正しい教義安心を 身につけることこそが 教化・伝道における 大きなちからとなります。

別科は、平成14年に教義安心について多くの方に学んでいただきたいという願いから開講いたしました。現在、浄土真宗の教義の深淵を明確に伝承・宣布する必要があるとの思いから、宗学院の充実強化をすすめております。

布教伝道する場合も、住職としてその任務を遂行するにあたって、教学の基礎をしっかりとっておかなければなりません。その教えについて体系的かつ持続的に学べる場が宗学院別科です。

講義会場は、重要文化財である龍谷大学本館講堂で開講いたしております。各講義は、司教和上である龍谷大学教授が担当いたします。

現在では、布教使の方も多く受講され近畿圏外より通学される方もおられます。これまでに、約650人の僧侶の方々が修了されております。また、真宗十派にも門戸が開かれており、現在までに大谷派、仏光寺派、興正派、木辺派、出雲路派、誠照寺派の方々が受講されました。

志ある多くの方々の出願をお待ちしております。



照会先(願書請求先)

浄土真宗本願寺派

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル  
浄土真宗本願寺派宗務所内

# 宗学院

TEL 075-371-5181(代)  
<http://shugakuin.hongwanji.or.jp>

# 受 講 生 の 声



**津守 秀憲**

平成24年度受講  
平成23年度布教使課程修了

宗学院別科を受講した理由は教学を振り返り、宗祖のお言葉を誤りなく受け取りたかったからです。

そして、週1回の講義ですから、お寺の法務とも折り合いをつけながら通うことが出来そうだったので受講を決めました。

講義は先生方が分かりやすく教義を説明してくださいますし、質問も受け付けていただけるので安心です。そして講義の休み時間には、世代を超えた、同じみ教を学ぶ先輩方とご法話に花を咲かせることが出来るのも宗学院別科の大きな魅力の一つだと思います。



**黒田 哲夫**

平成15～24年度受講  
教専寺住職

私は、この数年別科に在籍しています。まず本山の両堂に参拝し、講堂に入る瞬間、安居の高札をみて身の引き締まる思いがします。本典や安心論題を正しく理解することによって、私自身の「自信教人信」の姿勢を布教使として活動するいろいろな場面で再確認させていただいています。

別科の良い点は、週一回の受講で、いつも根本的な姿勢を正していただける事だと思います。皆様も是非、別科を受講なさってみませんか。



**内藤 良誠**

平成24年度受講  
龍谷大学大学院実践真宗学研究科修了

重要文化財である龍谷大学の本院講堂で、86名もの僧侶が布袍・輪袈裟で講義を受ける様子は非常に荘厳であり、身の引き締まる思いです。また講義では難しい話ばかりではなく、たとえ話などを通じて分かりやすく学ぶことが出来ます。

私たちは「み教を味わう」と言います。み教を「味わう」事は大切なことですが、それが都合の良い解釈にならないよう、宗学院別科で勉強させてもらい、僧侶として正しい教義安心を身につけ、それを一人でも多くの人に伝えていければと思います。



**枝廣 大智**

平成24年度受講  
平成23年度布教使課程修了

宗学院別科を受講して良かったことは、まず「教行信証」を専門的に学ぶことができることです。やはり非常に難解ですが、先生が毎回講義のプリントを作ってください、わかりやすく説明して下さるので非常に有難いです。

また、週一の講義ですし、法務をしていても気軽に受講することができるのも、宗学院別科の魅力だと思います。宗学を学びたいと思う人には、ぜひおすすめです。



**伊東 八葉子**

平成23・24年度受講  
元テレビ放送局支局長  
真宗大谷派法盛寺住職

お寺に生まれ、子育てを頂戴し、44年間お寺と会社勤めの両立の生活をしてきた私ですが、定年退職しお寺専従になった時、今までお寺は葬儀や法事等、仏事をこなしていればよいのだと、安易な考え方をしている自分に、気がかされていただきました。そして「これでいいのだろうか」と不安になり、何処へ行くべきか迷っている時、宗学院のポスターに出会い、「ア…これだ!!」という、なんともいえない力が「覚悟して勉強しなさいよ…」と背中をポンと押してくれました。

勉強する事は簡単ではありませんでした。何度も何度も挫折しそうになりましたが、「ご開山さまのみ教えに出会いたい」という学院の皆様の思いを強く感じさせて戴き、勉強する事の大切さを教えていただきました。せめて自坊で、お説教ができればと思っていましたが、今では布教使になりたいというデッカイ夢に変わっている私です。



**花山 修**

平成23・24年度受講  
正恩寺宗徒

将来、住職を継承する立場として、浄土真宗の教義を正しく身につけたいと思い、自坊で法務をしながら教義を学ぶことができる環境を求めて、別科を受講しました。週1回、朝から夕方まで各和上方の貴重な講義を聞くことができ、その講義を通して考えさせられることがたくさんあり、私にとっての大切な時間になっています。

講義は歴史ある龍谷大学本院講堂で行われていることもあり、学ぶ場としての空気感がすばらしく、私たちの学が意欲を後押ししてくれています。そして、様々な年代の僧侶の方々と一緒に学ぶことができ、先輩僧侶の方々の学ぶ姿勢からも刺激を受けています。

別科は一日の講義を通して、集中して親鸞聖人の教えにしっかりと向き合えることが魅力だと思います。



**楠 正照**

平成24年度受講  
龍谷大学大学院実践真宗学研究科修了

宗学院別科では、本典概説・安心論題・三経七祖教義・仏教概説の四講義があり、仏教の基礎から浄土真宗の教学までしっかり学ぶことができます。講義が行われる教室は龍谷大学大宮学舎の本館講堂(重要文化財)で、しかも講師が勤学・司教の方々という大変貴重な時間を過ごさせていただいています。

これまで多くの先達が学んでこられた歴史ある場所で、全国各地から集まった方々と共に研鑽させていただけるすばらしい空間を体感しながら講義を受けさせていただいています。



**兒玉 智文**

平成23・24年度受講  
文相寺住職

10年近く前に、現在の寺院に入寺して、これまで住職として微力ながら法務に動んでおりますが、社会の変化、並びにご門徒さんを取り巻く様々な環境は急激に変化しつつあることを肌で感じています。従来の伝道では、教を伝えることが益々困難になっているという焦りを感じていることもあり、宗学院別科で、もう一度、教学の基礎をしっかり身につけた上で、自分なりに現代に合う伝道を模索したいと思い入学しました。

諸先生方による講義は、とても丁寧で、わかりやすく、1科目70分の講義はあっという間に終わります。今後も諸先輩方のように継続して受講したいと思っています。

## 宗学院 助手の声

**橘 行信**

平成23・24年度別科助手  
平成22年度本科卒業

「真宗僧侶たるもの、学び続けなければならない。学びを止めたら伝道はできない。学びがそのまま喜びとなり、喜びを伝えるのが伝道である。確かな教義・教学に支えられているから、自ずとまことの喜びが出づる」

この言葉はある和上がお話し下さった、浄土真宗の僧侶の心得です。

昨年より宗学院別科の助手として携わることになりました。毎回の講義には、全国から多くの受講生の方々がお集まりになります。年代も環境も異なる方々が時間・場所を同じくし、宗学の研鑽に励まれておられます。そこには浄土真宗の「学び」と「喜び」が共に満ち溢れ、私もその「学び」と「喜び」をいただくばかりであります。

この縁によりいただくところの「喜び」を、今度は門信徒の方々とも一緒に喜ばせていただくことができるでしょう。宗学院別科には浄土真宗の僧侶が大切にすべき「学び」と「喜び」があると思います。



宗学院報恩講にてご講演(梯實圓後援会会長)